

優良賞

おしん

マイ ティ チャ
MAI THI TRA

ベトナムで日本人のだれを知っているかと聞かれれば、答えはおしんだと思います。

日本のドラマのおしんは1994年にベトナムでも放送していました。このドラマはめいじに生まれたおしんという人の人生の話です。おしんは大人しくて勤勉な女の子でした。家族はとても貧しかったので、7才ごろほかの家族のお手伝いさんにならなければなりませんでした。お手伝いさんの仕事はとても大変ですが、その上家主に苛められました。でも、家族のためにおしんはよくがんばりました。おしんの人生の中でたくさん辛い事がありましたが、気丈にがんばり、最後には成功する事になりました。

テレビでおしんをやっていた時私は6才でした。村には白黒のテレビが5、6台しかなかったんです。私の家族はそのうち1台を持っていました。古くてあまりきれいじゃなかったんですがたくさん近所の人が見に来ました。ごご6時になるとドラマが始まるので、みんなは間に合うように田んぼの仕事をがんばって早く終わらせテレビの前に集まりました。ドラマをやっている間は道に人が少なくなりました。

ベトナム人でなくておしんを見た人は皆おしんの事が好きになったと思います。ベトナムでおしんは大きな関心事になりテレビがきれいな人も見るようになりました。どこでもおしんの事を話していました。都会から農村まで田んぼ

でも喫茶店でも話されていました。ドラマが終わってもおしんの話はまだよく話題にのぼります。

今、私の田舎ではどの家族もテレビを持つようになりました。テレビで韓国と中国のドラマなどをよくやっています。ロマンチックで面白いドラマがたくさんありますが、人の心に深く入り込むおしんのようなドラマは珍しいでしょう。

都会の人は忙しくて家の仕事が自分でできません。お手伝いさんにきてもらいます。お手伝いさんは増えてきました。でも、皆はお手伝いさんと言わずにおしんという言葉で呼んでいます。ベトナム語でなくても聞いてすぐにお手伝いさんの事だとわかります。おしんという言葉はいっぱんてきになりました。

ベトナムのおしんたちも農村の貧しい女の人たちで、都会へ人の家の仕事をしに行きます。よく働きます。一年中お正月しか休みません。日本のおしんのように生活がよくなってほしいです。

ベトナム人にとっておしんはドラマだけでなく勤勉なせいかくの象徴になりました。日本人の勤勉さ見習って自分の未来をきりひらきたいと思います。おしんを見てなぜ日本はこんなにはってんしているかがわかりました。私もがんばって仕事をしてベトナムのはってんのために役立ちたいです。

区 分	技能実習生
国 籍	ベトナム
職 種	プリント配線板製造
受入れ企業	エヌワイ工業株式会社
受入れ団体	ティー・エス事業協同組合